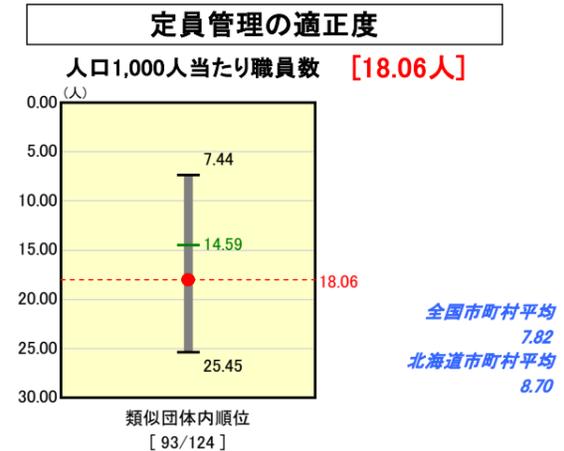
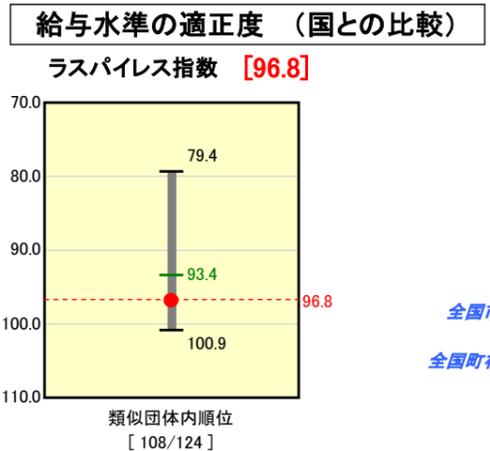
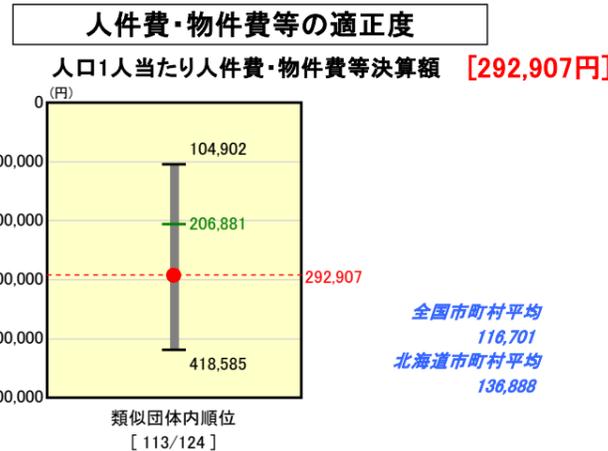
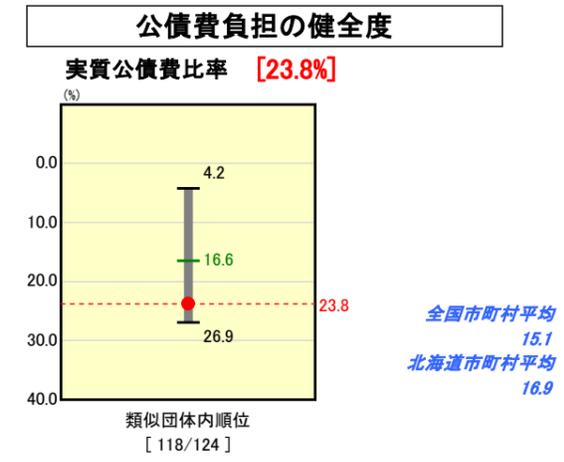
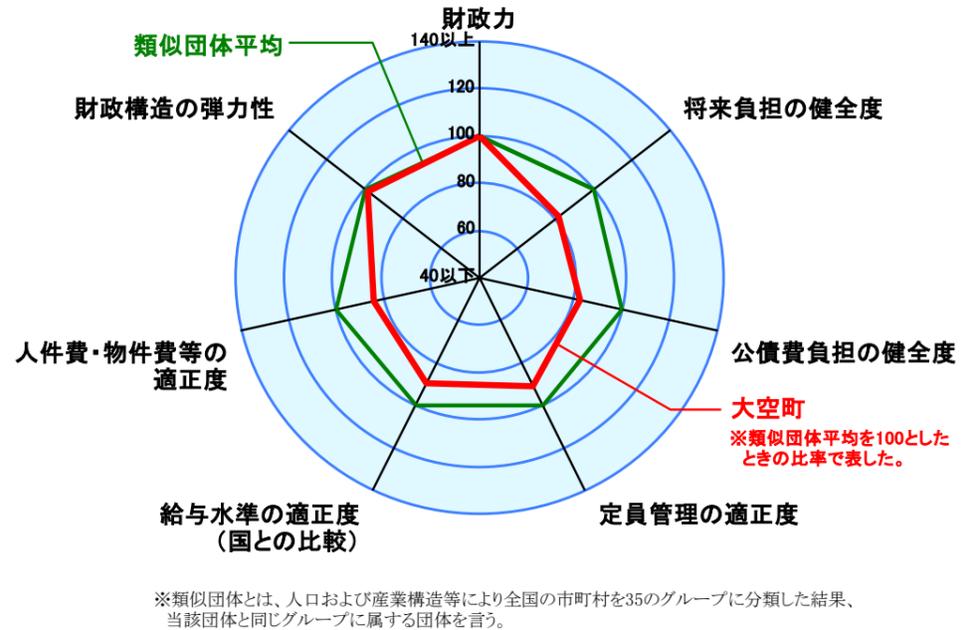
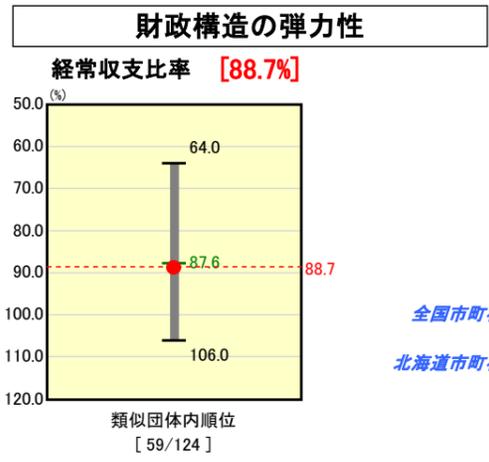
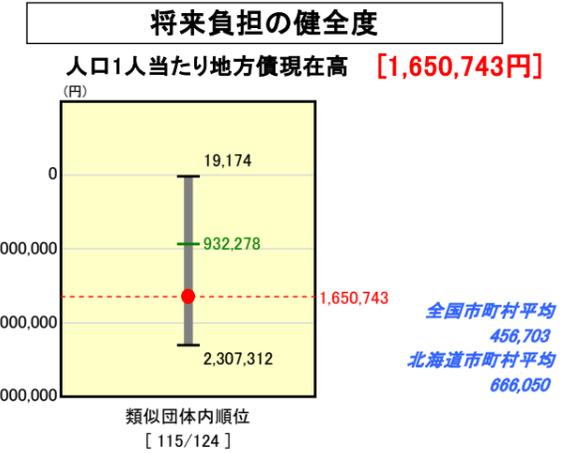
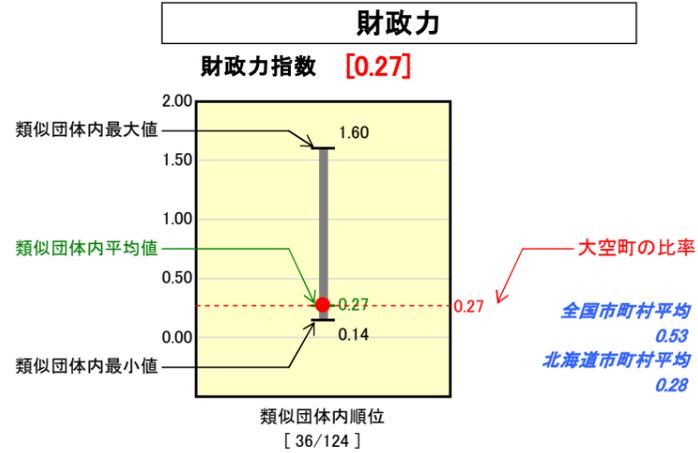


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 北海道 大空町

人口	8,584 人(H19.3.31現在)
面積	343.62 km <sup>2</sup>
歳入総額	7,227,639 千円
歳出総額	7,112,043 千円
実質収支	109,026 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**： 女満別空港関連施設の固定資産税等により類似団体平均と同じ0.27となっており、前年に比べ0.01上昇している。今後とも滞納額の圧縮などさらなる徴収業務の強化に取り組む。

**経常収支比率**： 公債費の増加により類似団体平均を上回っている。今後も扶助費の増加等による上昇が見込まれることから、人件費の抑制や起債発行抑制による公債費の縮減、行政改革の推進により経常経費の削減に努める。

**ラスパイレース指数**： 類似団体を上回り97.0となっている。平成20年度から2か年間で職員給与カットを行うこととしており、今後も一層の抑制に努める。

**実質公債費比率**： 過去の景気対策等による建設事業に係る起債の償還に伴い上昇し、類似団体を上回っているが平成20年度以降起債償還は減少していく見込みである。今後も、緊急度・住民ニーズを把握した事業の選択により起債発行額を抑制し、併せて世代間の負担の公平化と公債費負担の平準化の観点から、繰上償還や借換えを行うことにより償還額の平準化と実質公債費の抑制に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等**： 人件費・物件費等が類似団体平均を上回っている。人件費は合併直後で高くなっているが、今後は合併による事務効率化や指定管理制度導入により職員数の減少が見込まれる。物件費についても指定管理者制度の活用等により外部委託を進め、経費削減を図る。

**人口1人当たり地方債現在高**： 類似団体平均を大きく上回っている。過去に景気対策により発行した起債の償還が主な要因となっているが、今後は大空町総合計画のもと中長期的な視野に立ち、適量・適切な事業実施により新規発行債の抑制を図り、財政健全化に努める。

**人口1人当たり職員数**： 合併して間もないので類似団体平均を上回っているが、今後は合併による効果を踏まえて職員数の適正化を図り、さらに事務の効率化や外部委託等により職員数の削減に努める。